



いとう たつや

金融担当大臣
衆議院議員

伊藤達也

VOICE NET mini 2005.4.1号

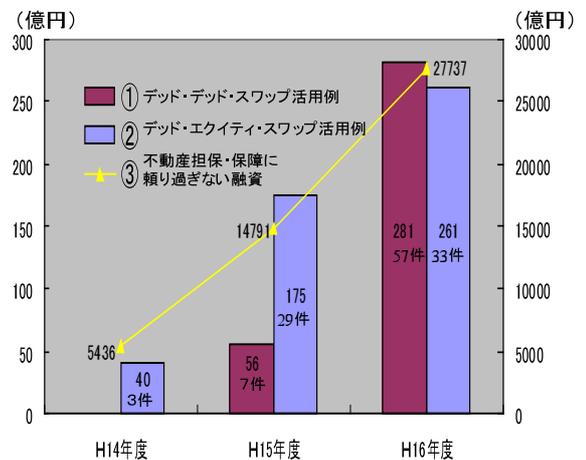
活力ある金融システムの構築

今月から、「地域密着型金融の機能強化の推進に関するアクションプログラム」を開始いたします。本プログラムは、平成17年度及び18年度の2年間で「重点強化期間」としております。

平成15～16年度の改善点

「重点強化期間」に先立つ平成15～16年度は、「集中改善期間」と位置付けられていました。本期間を通じて、地域密着型金融機能は着実に強化され、以下の改善を達成いたしました。

- ・正常先を除く支援を行った債務者の24.5%（約18,000先）が業務改善
- ・地域金融機関の約90%が担保・保証に頼り過ぎない融資を推進
- ・債務を流動化する手法を活用した事業再生事例が増加



旧プログラムに対する評価

金融庁の行った利用者アンケートの結果などによると、プログラムの取組みに対する借り手の受け止め方はプログラム実施前よりも改善しており、中小企業から見た金融機関の貸し出し態度も改善されたとする傾向にあります。また、不良債権比率は全体として低下傾向にあり、旧プログラムの取組みについては、一定の評価を得られました。

新プログラムの内容

しかし、旧プログラム実施期間では不十分な点があったことも事実です。それをふまえ、新プログラムでは地域密着型金融の一層の推進を図るべく、以下の3つの柱に重点を置きます。

- ① 事業再生・中小企業金融の円滑化
- ② 経営力の強化
- ③ 地域利用者の利便性向上

これらにつき、各金融機関は半期毎に進捗状況を公表することになります。また、平成17年8月末までに、各地域の特性等を踏まえた個性的な「地域密着型金融推進計画」を策定して公表することになります。

以上3つの柱に則った具体的な各取組みを実施することにより、各地域及び各金融機関の特性・規模等を踏まえた「選択と集中」を図ることで、金融システムの一層の安定化と強化を行います。国民の皆様方の金融システムに対する一層のご信頼と期待を賜れますよう、これからも全力を尽くしてまいります。

金融担当大臣 伊藤達也

プロフィール

1961年 7月6日生まれ かに座 O型
1980年 調布市立第一小、調布中学校を経て
慶應義塾高等学校を卒業
1984年 慶應義塾大学法学部法律学科卒業
" (財)松下政経塾入塾(第5期生)
1987年 カリフォルニア州立大学大学院行政学部 客員研究員
1993年 衆議院議員(以来、連続4期当選)
2000年 通商産業政務次官
以降、自由民主党 経済産業部会長、行政改革推進本部幹事
e-Japan重点計画特命委員会事務局長
衆議院 経済産業委員会筆頭理事、
環境委員会理事等を歴任
2002年 内閣府副大臣(金融担当)
2003年 内閣府副大臣(金融および経済財政政策担当)
2004年 **金融担当大臣**

■ 特技はピザの宅配
ピザ生地を指でぐるぐる回して広げることも特技。
政治家を志すにあたり、自分と家族の生活費くらい自分で
まかなえなくては、と20代のとき飲食店を夫婦ではじめた。

■ 趣味
野 球：小学生の時には、韓国遠征にもいった腕前とか。
伊藤達也事務所野球チームの4番。
対戦相手募集中。
映画鑑賞：学生時代は映画制作サークルに所属。
今はもっぱらビデオで映画鑑賞。

■ 座右の銘
「成功の要諦は成功するまで続けることにある」

■ 家族
妻と一男一女の四人家族

伊藤達也の5つの約束

決断1:「小さくて効率的な政府」の実現

行財政改革

官は真に官がすべきことだけを行い、その他の公的サービスについては「官から民へ」移管することによって、より効率的で質の高い公的サービスを提供し、一人一人の力が最大限活かされる「豊かな公・小さな官」を実現します。行政サービスの外部委託、公務員改革等を一層進めてまいります。

決断2:「活力・持続性のある

経済社会の構築」

経済構造改革

金融担当大臣として日本経済の足かせとなってきた不良債権問題の正常化を実現しました。今後さらに規制改革、国際競争力強化、中小企業ベンチャー支援等を推進し、民間主導の活力ある経済社会を構築します。

決断3:「主体的なまちづくりで 地域を元気に」

地域主権 地域再生

これまでも積極的にNPO等市民活動や、地域の主体的なまちづくりを応援してきました。また地元の創意工夫が活かされる特区や地域再生の仕組みをつくってまいりました。市民・研究機関・企業・行政の協働により地域が活性化されるよう、国の規制を極力廃し、権限や財源の委譲を進めます。

決断4:「命あるすべてを大切にし

潤いのある福祉社会の構築」

環境・福祉

低公害車、太陽光発電、燃料電池などが国の優れた環境技術を活かすことで、環境と経済の両立をはかり、地球環境の保全と循環型社会の構築への取り組みを強化します。また、超高齢社会の「安心の基盤」となりうる持続可能な社会保障制度の構築に努めます。

決断5:「政策で政治を変える」

政治改革

これまでも具体的な政策を掲げて選挙を行うだけでなく、公約達成度を成績表にして評価を行い、有権者の皆様に示してきました。マニフェスト(政策綱領)を提示し、工程表で道筋を明らかにして目標を達成する手法を活用し、総論賛成、各論反対の政治を打ち破ります。

伊藤達也を支えてくださる皆様へ 「3つのお願い」

1. お知り合いをご紹介下さい

東京第22区(三鷹・調布・狛江・稲城)に住まいのお友達、お知り合いの方をご紹介ください。

2. ボランティア・スタッフをお待ちしております

伊藤達也は、お金のかけない“手作りの政治活動”を実践しています。ポスター貼りや遊説、発送物の封入作業など空いた時間やお休みの日にボランティア・スタッフとして手伝って下さる方をお待ちしております。

3. 未使用の切手をご寄付下さい

伊藤達也を多くの方々にお届けするためには莫大な郵送料がかかります。また、切手に限らず、コピー用紙や文房具のご寄付もおまちしております。

東京都第22選挙区



伊藤達也事務所

〒182-0024

調布市布田1-3-1 ダイヤビル2F

TEL 0424-99-0501

FAX 0424-81-5992